

一般国道58号 那覇北道路に係る新規事業採択時評価

- 基地等返還後の新都心の整備等により、那覇市北西沿岸部には交通が集中（那覇市内は県民の生活や物流、さらには観光の交通が混在し、昼夜で渋滞）
- 沖縄県の主要産業である観光においても、交通渋滞が最大の課題。（観光振興を図る上で那覇市及び周辺のアクセス性向上が重要。）

1. 事業概要

- 起終点：沖縄県那覇市港町～那覇市若狭
- 延長等：2.2km
(第1種第3級、6車線、設計速度80km/h)
- 全体事業費：約731億円
(うち道路事業費：約380億円)
※国道事業と港湾事業との共同事業による実施
- 計画交通量：約42,100台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約28,900台/日	約6,900台/日	約6,300台/日



図1 事業位置図

2. 道路交通上の課題

課題1：那覇市北西部の渋滞緩和

○自動車交通に依存している沖縄県内において、那覇市内の交通は、日常生活の交通をはじめ、産業関連の交通や観光交通が混在し、混雑は主要都市のなかでワースト1。【図2】

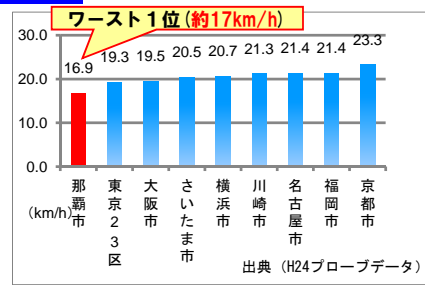


図2 一般道における平日混雑時平均旅行速度

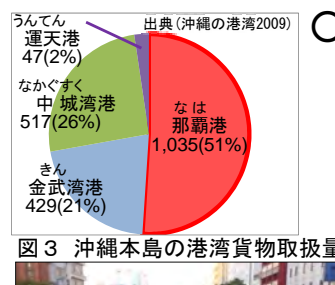


図3 沖縄本島の港湾貨物取扱量



写1 国道58号(泊交差点付近)の渋滞状況

○産業物流の中心地である那覇新都心や、県内の港湾貨物量の半数を扱う那覇港のある那覇市北西部に交通が集中しており、昼夜で渋滞が発生。定時性・速達性に課題あり。【図3, 4】

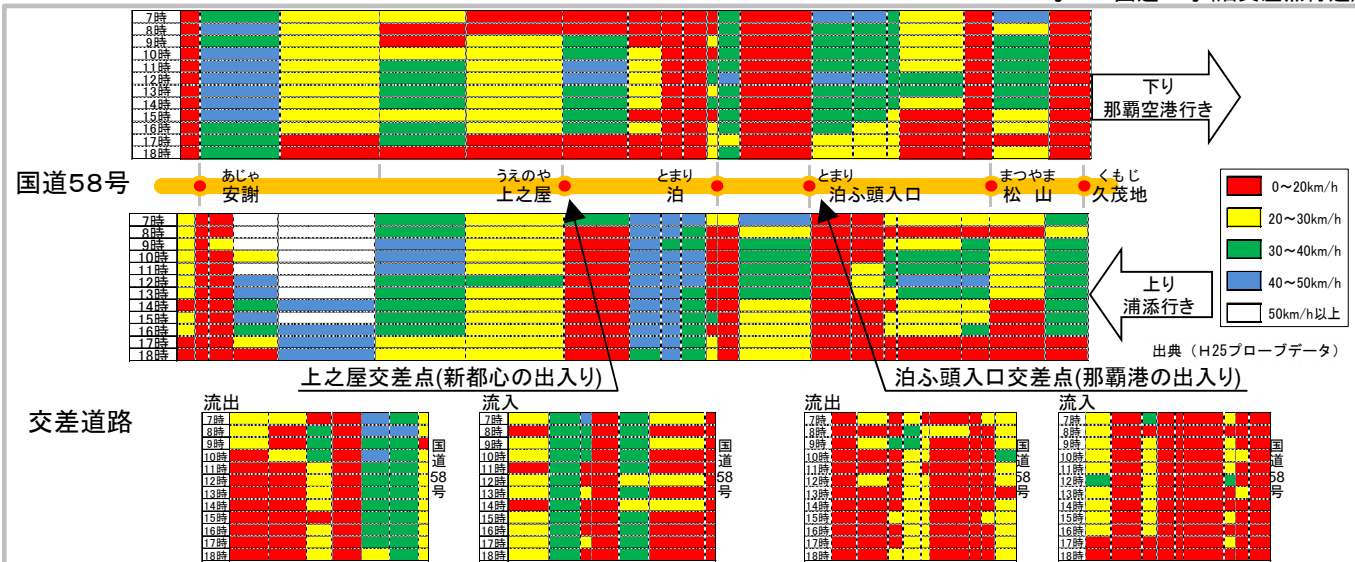


図4 時間帯別旅行速度の状況 赤色ほど渋滞が激しく、那覇市北西沿岸部は慢性的に混雑

課題2：地域経済・地域社会等

○沖縄県では、沖縄振興計画「沖縄21世紀ビジョン」に基づき、観光振興を推進しており、近年着実に観光客が増加。【図5】
満足度調査において、観光客の約4割は「渋滞状況」に不満※【図6】

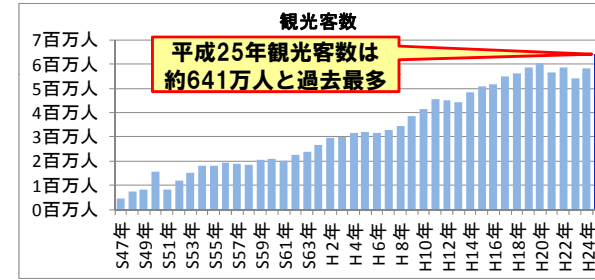


図5 入域観光客数 出典（H24年度観光要覧及び沖縄県発表資料）

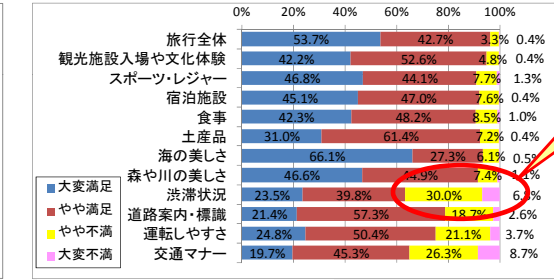


図6 沖縄旅行の満足度 出典（H24年度観光要覧）

観光客の約4割が交通渋滞に不満

※「大変不満」と「やや不満」の計

3. 整備効果

効果1 交通渋滞の緩和 [◎]

○那覇北道路の整備により、那覇市内に環状道路の一部が形成されることで、那覇市街地内の通過交通を転換し、定時性・速達性の確保が期待される。【図7, 8, 9】

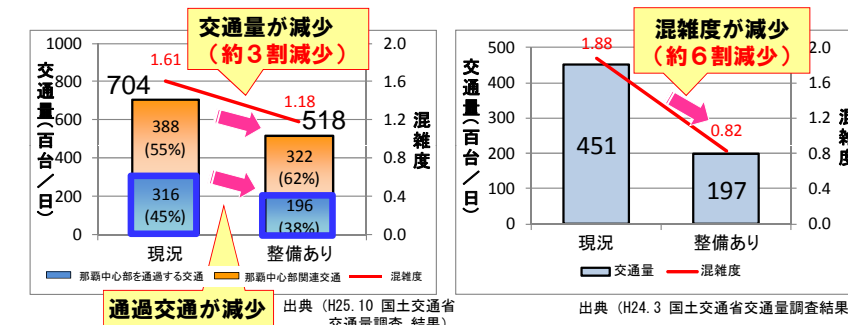


図8 国道58号の通過交通割合

図9 臨港道路の交通量・混雑度



図7 那覇都市圏の環状道路

効果2 地域経済・地域社会等への貢献 [○]

○県南地域は沖縄戦跡国定公園をはじめとした観光地が多く点在し、近年は物流関連企業や西日本最大のレジャーステーションが立地するなど、急速に成長しているエリア。那覇北道路の整備によって、那覇市北西部の渋滞が緩和されるとともに、物流拠点の那覇港と県南地域のつながりが強化され、地域経済の発展に寄与することが期待される。

■費用便益分析結果（貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの）

B/C	EIRR※1	総費用: 541億円※2	総便益: 1,104億円※2
2.0	8.5%	・事業費: 529億円 ・維持管理費: 12億円	・走行時間短縮便益: 857億円 ・走行経費減少便益: 157億円 ・交通事故減少便益: 89億円

※1: EIRR: 経済的内部収益率

※2: 基準年(H25年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

一般国道58号 那覇北道路に係る新規事業採択時評価

